

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第8週[2月21日～2月27日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/  
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

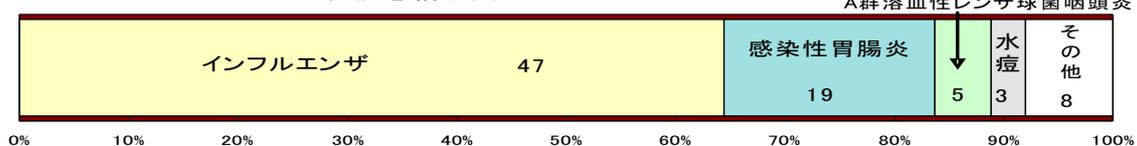
## 県内情報

### ○ 患者情報総評

#### 注意報発令疾患：インフルエンザ

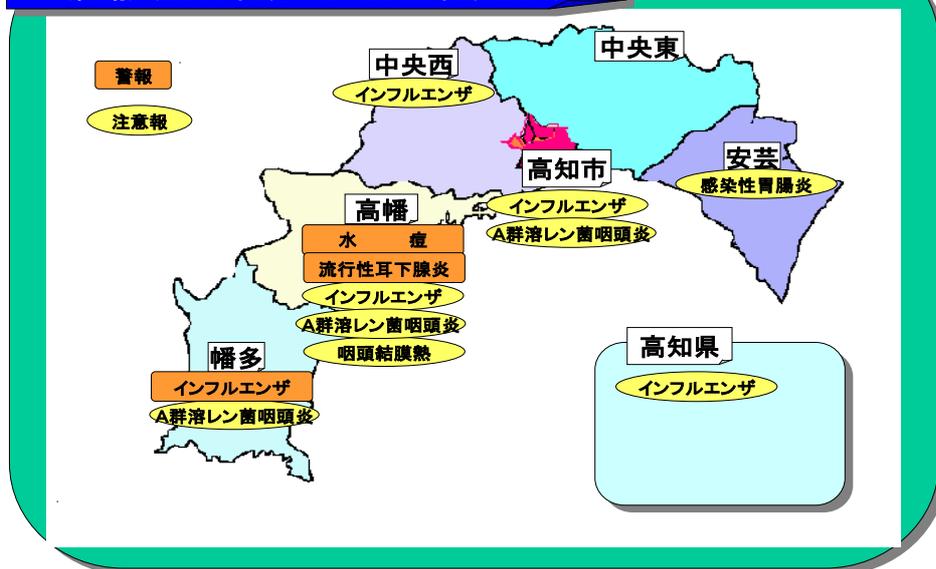
- ・ 今週は例年よりも気温が高く、地域によっては20℃を越す日もあり、過ごしやすかった。
- ・ インフルエンザ（幡多：注意報→警報，高幡：注意報→注意報，高知市：注意報→注意報，中央西：注意報→注意報）は総数はさらに減少しているが、幡多では引き続き増加し警報値を超した。
- ・ 感染性胃腸炎（安芸：注意報）は高知市で半減したため、総数も大幅に減少したが、安芸では注意報値を超した。
- ・ 水痘（高幡：警報→警報）は中央西でやや増加したが、その他の地域では減少し、総数は前週の約1/2となった。しかし、高幡では引き続き警報値を越す流行が続いている。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（幡多：注意報→注意報，高知市：注意報→注意報，高幡：注意報）は高知市と高幡で増加，幡多は横ばいでそれぞれ注意報値を超している。

上位疾患構成図



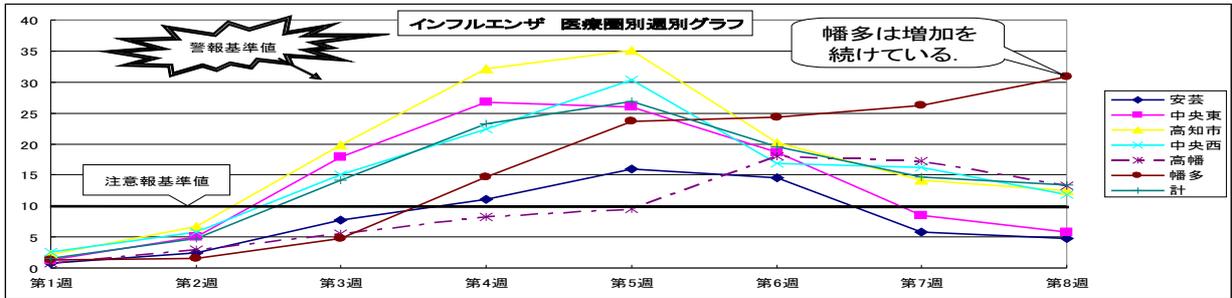
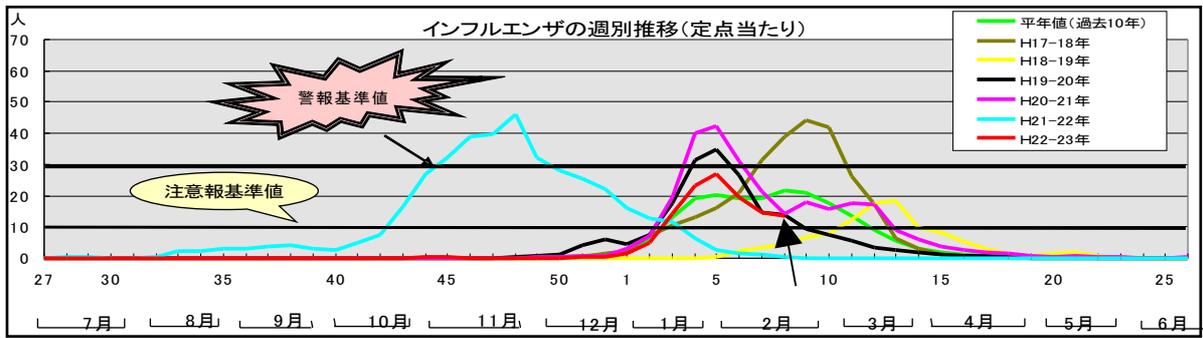
## 地域別感染症注意報・警報発生状況

第7報（2011年2月21日～2011年2月20日）



### インフルエンザ：今週 13.33（注意報値：10.00 警報値：30.00）

幡多では引き続き増加し、警報値を超した。その他の地域では減少し、総数はさらに減少した。県全体でみると今冬シーズンはAH1pdm（新型）が主流と思われるが、幡多地域の定点医療機関からのコメントによると、迅速キットでB型陽性の割合が7割を超えている。年齢別にみると、5～9歳が34.8%，1～4歳が22.3%，10～14歳が19.2%の順で報告が多い。今週はAH1pdmが4件検出されている。また、施設別発生状況では、2保育所，6小学校，1中学校で患者数183名となり、学級・学年閉鎖の措置が取られた。総数は減少しているが、まだ流行シーズン中であり、引き続き注意が必要である。



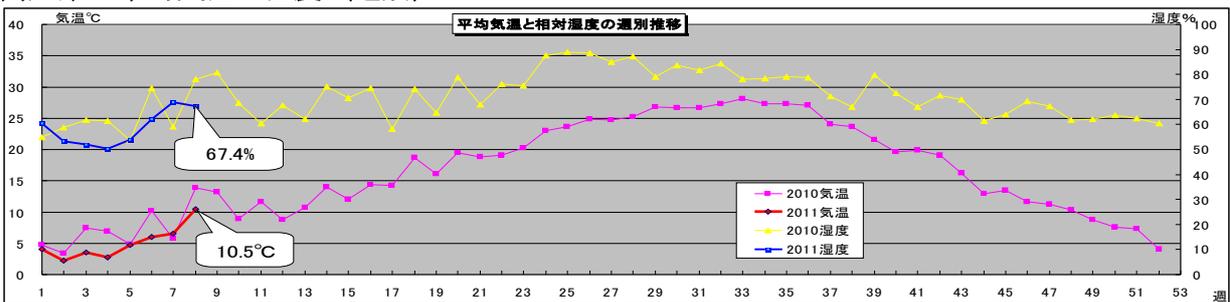
### ○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス, 細菌の検出状況
8	マイコプラズマ肺炎	10歳 女	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
8	マイコプラズマ肺炎	7歳 男	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
6	咽頭結膜熱	1歳 女	高幡	Adenovirus 3
7	感染性胃腸炎	9歳 男	中央東	Norovirus G II
7	インフルエンザ	1歳 男	高知市	Influenza virus AH1pdm
8	インフルエンザ	1歳 男	高知市	Influenza virus AH1pdm
8	インフルエンザ	7ヵ月 女	高知市	Influenza virus AH1pdm
8	インフルエンザ	36歳 男	高幡	Influenza virus AH1pdm

### ○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 2例（59歳男，67歳女）《高知市》（今年24例）  
 5類感染症：梅毒 1例（92歳男）《須崎》（今年2例）  
 急性脳炎 1例（61歳男）《中央東》（今年1例）

### ○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



### ○ 定点からの地域ホット情報

#### 幡多：

《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの49例中12例はA型陽性，37例はB型陽性

《さたけ小児科》：マイコプラズマ感染症 2例（8歳女）

インフルエンザの103例中9例はA型陽性，85例はB型陽性

《大井田病院小児科》：インフルエンザの11例中9例はB型陽性

《渭南病院小児科》：インフルエンザの8例中5例はA型陽性（うち予防接種歴ありは3例，なしは2例），3例はB型陽性（予防接種歴なし）

《こいけクリニック》：インフルエンザの60例中25例はA型陽性，35例はB型陽性

#### 高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの35例中30例はA型陽性（うち予防接種歴ありは4例），5例はB型陽性  
 マイコプラズマ肺炎 1例（1例）

《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの12例中11例はA型陽性，1例はB型陽性

#### 中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの21例中13例はA型陽性，8例はB型陽性，うち9例は予防接種歴あり  
ヘルペス性歯肉口内炎 1例（2歳女）

《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの19例中7例はA型陽性，12例はB型陽性，うち7例は予防接種歴あり  
マイコプラズマ肺炎 1例（12歳女）

《岡本内科》：インフルエンザの6例中2例はB型陽性

#### 高知市：

《細木病院小児科》：感染性胃腸炎の2例はロタウイルス陽性  
インフルエンザの18例中13例はA型陽性，5例はB型陽性

《矢野小児科》：インフルエンザの13例中3例は予防接種歴あり

《福井小児科内科》：インフルエンザの19例中15例はA型陽性，4例はB型陽性，うち1例は予防接種歴あり

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの44例中23例はA型陽性，21例はB型陽性，うち17例は予防接種歴あり  
アデノウイルス陽性 1例（2歳女）  
帯状疱疹 1例（6歳女）

《ふないキッズクリニック》：インフルエンザの11例中8例はA型陽性，3例はB型陽性，うち4例は予防接種歴あり  
感染性胃腸炎の1例（1歳男）はロタウイルス陽性

《高知医療センター小児科》：インフルエンザの4例は全てA型陽性，予防接種歴なし

《細木病院内科》：インフルエンザの1例はA型陽性

《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの7例中6例はA型陽性，1例はB型陽性，うち予防接種歴ありは2例，なしは3例

《近森病院内科》：インフルエンザの14例中9例はA型陽性，1例はB型陽性，うち予防接種歴なしは2例

《高知医療センター内科》：インフルエンザの3例は全てA型陽性，予防接種歴なし

#### 中央東：

《高知大学医学部附属病院小児科》：感染性胃腸炎の2例（11ヵ月男）はロタウイルス腸炎

《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの11例中8例はA型陽性，3例はB型陽性

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの12例中9例はA型陽性，3例はB型陽性

《いちほら内科小児科》：インフルエンザの15例中8例はA型陽性，7例はB型陽性

《JA高知病院内科》：インフルエンザの9例は全てA型陽性

《野市中央病院内科》：インフルエンザの1例はA型陽性

#### 安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの16例中5例はA型陽性，3例はB型陽性，予防接種歴なし

《県立安芸病院内科》：インフルエンザの1例はA型陽性，予防接種歴あり

#### 全国情報第6週（2/7～2/13）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核274例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症4例（有症者2例、うちHUS 1例）

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎6例、コクシジオイデス症1例、チクングニア熱1例、つつが虫病3例、デング熱2例、マラリア1例、レジオネラ症6例

5類感染症：アメーバ赤痢8例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群23例（AIDS 5例、無症候15例、その他3例）、ジアルジア症2例、梅毒5例、風しん2例、麻しん14例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

#### ◆インフルエンザウイルス2010/11シーズン

2010年第28週以降、2010/11シーズンに入ってもAH3亜型の報告数がAH1pdmを上回っていたが、第49週以降、AH1pdmが増加している。

2010/11シーズンにはAH1pdmが45都道府県から3,238件、AH3亜型が45都道府県から1,507件、B型はビクトリア系統株が21道府県から163件、山形系統株が7県から14件、系統不明株が18都道府県から56件報告されている。

直近の2011年第2～6週の5週間ではAH1pdmが40都道府県から2,012件（神奈川県176件、兵庫県120件、広島県105件、北海道102件、青森県94件、茨城県93件、山梨県85件、福岡県83件、島根県81件、沖縄県68件、山形県64件、宮城県60件、静岡県56件、東京都55件、千葉県53件、栃木県、岐阜県各50件など）、AH3亜型が34都道府県から474件（神奈川県97件、茨城県40件、東京都32件、北海道、千葉県各31件、島根県、福岡県各23件、栃木県19件、群馬県、新潟県各18件、宮城県17件、兵庫県11件、山梨県、香川県各10件、広島県9件、岐阜県8件、京都府、岡山県、沖縄県各7件など）、B型はビクトリア系統株が13道府県から83件（神奈川県13件、兵庫県10件、岐阜県、山口県各9件、富山県8件、三重県、島根県、広島県各7件、北海道5件、栃木県4件、山形県2件、群馬県、大阪府各1件）、山形系統株が2県から2件（神奈川県、山口県各1件）、系統不明株が14都道府県から44件（東京都10件、神奈川県6件、千葉県、奈良県各5件、愛媛県4件、広島県3件、茨城県、新潟県、福岡県各2件、秋田県、栃木県、静岡県、香川県、熊本県各1件）報告されている。AH1pdm（2,012件）は分離・検出例全体（2,615件）の77%を占めている。

このうち、輸入例からの分離・検出が4件（AH1pdm 3件、B/山形系統1件）報告されている。

定点名	疾病名	医療圏 安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(7週)	高知県(8週末累計) H23/1/3~H23/2/27
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	19	63	199	59	53	247	640 ( 13.33)	703 ( 14.65)	80,667 ( 16.35)	5,669 ( 118.10)
小児科	咽頭結膜熱					2	3	5 ( 0.17)	17 ( 0.57)	1,255 ( 0.40)	77 ( 2.57)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	5	26	3	4	13	52 ( 1.73)	57 ( 1.90)	6,795 ( 2.16)	372 ( 12.40)
	感染性胃腸炎	25	57	53	23	4	28	190 ( 6.33)	248 ( 8.27)	29,435 ( 9.36)	2,024 ( 67.47)
	水痘		7	13	2	8	1	31 ( 1.03)	65 ( 2.17)	5,486 ( 1.74)	486 ( 16.20)
	手足口病			9				9 ( 0.30)	13 ( 0.43)	363 ( 0.12)	56 ( 1.87)
	伝染性紅斑		1	2		1		4 ( 0.13)	1 ( 0.03)	1,596 ( 0.51)	28 ( 0.93)
	突発性発疹		6	4		1	1	12 ( 0.40)	10 ( 0.33)	1,530 ( 0.49)	73 ( 2.43)
	百日咳								1 ( 0.03)	58 ( 0.02)	6 ( 0.20)
	ヘルパンギーナ				1			1 ( 0.03)		60 ( 0.02)	13 ( 0.43)
	流行性耳下腺炎		1	1	1	6	4	13 ( 0.43)	10 ( 0.33)	3,085 ( 0.98)	40 ( 1.33)
	RSウイルス感染症	6	3	10				23 ( 0.77)	35 ( 1.17)	1,501 ( 0.48)	507 ( 16.90)
眼科	急性出血性結膜炎									12 ( 0.02)	( 0.00)
	流行性角結膜炎								1 ( 0.33)	362 ( 0.54)	8 ( 2.67)
基幹	細菌性髄膜炎									7 ( 0.02)	1 ( 0.14)
	無菌性髄膜炎						2	2 ( 0.29)	1 ( 0.14)	9 ( 0.02)	5 ( 0.71)
	マイコプラズマ肺炎			2				2 ( 0.29)	1 ( 0.14)	182 ( 0.40)	17 ( 2.43)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			1				1 ( 0.14)		17 ( 0.04)	1 ( 0.14)
計 (小児科定点当たり人数)	51 ( 20.75)	143 ( 17.16)	320 ( 23.16)	89 ( 21.80)	79 ( 26.25)	303 ( 41.68)	985 ( 24.67)				
前週 (小児科定点当たり人数)	54 ( 21.25)	181 ( 20.97)	413 ( 30.94)	115 ( 27.53)	116 ( 40.75)	284 ( 40.85)		1,163 ( 29.88)	132,420	9,383 ( 240.84)	

定点当たり

第8週

定点名	疾病名	医療圏 安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(7週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	4.75	5.73	12.44	11.80	13.25	30.88	13.33	14.65	16.35
小児科	咽頭結膜熱					1.00	0.60	0.17	0.57	0.40
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.71	2.36	1.00	2.00	2.60	1.73	1.90	2.16
	感染性胃腸炎	12.50	8.14	4.82	7.67	2.00	5.60	6.33	8.27	9.36
	水痘		1.00	1.18	0.67	4.00	0.20	1.03	2.17	1.74
	手足口病			0.82				0.30	0.43	0.12
	伝染性紅斑		0.14	0.18		0.50		0.13	0.03	0.51
	突発性発疹		0.86	0.36		0.50	0.20	0.40	0.33	0.49
	百日咳								0.03	0.02
	ヘルパンギーナ				0.33			0.03		0.02
	流行性耳下腺炎		0.14	0.09	0.33	3.00	0.80	0.43	0.33	0.98
	RSウイルス感染症	3.00	0.43	0.91			0.80	0.77	1.17	0.48
眼科	急性出血性結膜炎									0.02
	流行性角結膜炎								0.33	0.54
基幹	細菌性髄膜炎									0.02
	無菌性髄膜炎						2.00	0.29	0.14	0.02
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.29	0.14	0.40
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.20				0.14		0.04
計 (小児科定点当たり人数)	20.75	17.16	23.16	21.80	26.25	41.68	24.67			
前週 (小児科定点当たり人数)	21.25	20.97	30.94	27.53	40.75	40.85		29.88		

## 2011年週報推移(定点当たり)

